

教育荒廃の元凶 ぶっ壊せ！日教組

日教組がなした、戦後60年間の五大大罪！

- ① 子供に「人権」なるものを教え、子供を王様に祭り上げ、義務を伴わない権利意識だけの、社会で使い者にならないお子ちゃまを作ってしまったこと。
- ② 自らが楽をするため、「平等」という大義名分で競争を否定し、切磋琢磨を排除。子供らに低位安定の教育をし学力崩壊を招いたこと。特に大阪は ヒ・ド・イ
- ③ ジェンダーフリーなるものを発案し日本本来の道徳を排除。日本人としての常識・良識を否定し、家庭崩壊、国家崩壊をもくろんだこと。
- ④ 卒業式等で国旗国歌に反対し、政治やイデオロギーを学校に持ち込み日本の伝統文化を破壊、日本大嫌い人間を作り国際社会で恥を欠く原因を作ったこと。
- ⑤ 大分県のように各教育委員会に深く浸透し、人事等、教育行政をやりたい放題、私（わたくし）したこと。

おまけ 在日や中国に媚を売る怪しげな連中とくみ、「従軍慰安婦」や「南京大虐殺」などと、ありもしない話しをでっち上げ、「日本は悪かった」と吹聴し、子供たちから誇りや自尊心を奪ってしまったこと。

日教組が教育にもたらした数々の弊害。言い出したらきりがありません。極端な言い方をすると、いま一般の方々が思っている、教育に対する不安、不満は全て日教組が原因。今、この原稿を書いているこのときに西宮市立平木小学校では組合の集会が行われています。西宮市内全部から集まるわけですから数百人。開始時刻は午後5時。ということは各学校を4時には出なければならないわけです。先生方の勤務時間はほとんどの学校で5時までですから、1時間サボるわけです。こんなことが平然と行われています。

今、大阪府下で、先日行われました全国学力テストの、各市町村毎の平均点を公表するしないでもめています。公開に踏み切る市町村もあるようですが、多くの市町村では、各教育委員会が「序列につながる」などといって公開しません。橋下知事は「公開せよ！ さもないと予算措置を考える。」とまで言っています。なぜ公開を渋るのか。それは、各市町村の平均点がわかるとサボっていた市町村が丸わかり。悪い市町村の先生はがんばらなければならなくなる（当たり前ですが）。だから公開するな。と日教組が圧力をかけるのです。そして教委は言いなりになって公開を拒んでいるわけです。じつに日教組らしい戦術です。

子供たちの健やかな発達のためには適度な競争が必要なことは言うまでもありません。結果平等を目指す同和的発想から競争を否定します。ところが現実社会は、競争社会。そこへ競争を否定した教育を受けた子供たちが飛び込む。カルチャーショックで寝込むのは当たり前。そして排除される。ニートの出来上がりです。要は社会で使い物にならない大人を作るのが日教組なのです。日教組は社会の癌。一日でも早くぶっ潰さなければなりません。